

科学研究費助成事業 研究成果公開促進費 国際情報発信強化（平成26年度採択分）  
「英文誌編集体制強化および電子化の推進」  
（課題番号：262019）

学術団体名：一般社団法人 日本教育学会

学術刊行物の名称：Educational Studies in Japan: International Yearbookおよび  
『教育学研究』（The Japanese Journal of Educational Research）

事業期間：平成26年度～平成30年度

## 1 取組の概要

### ・取組内容の特徴と目的、意義及び方法

本学会ではこれまでに、CiNiiやJournal@rchiveにおいて、WEB上での無料公開を実施してきた。特に、英文ジャーナル（Educational Studies in Japan: International Yearbook）を平成18年12月に創刊し、年1回発行しており、海外への発信のみならず海外からの投稿も受け付けてきた。この英文誌については、世界最大の教育学関係英語文献データベースERIC（Educational Resources Information Center）へ掲載され、海外の研究者にも活用されている。こうしたこれまでの取り組みを基礎としつつ、今回の取り組みでは、「J-STAGE」へ本刊行物『教育学研究』掲載の各論文の英文要旨および英文目次、および英文ジャーナルを掲載することにより、より汎用性の高いデータ方式で国内外の論文検索サイトと連携してより広範に情報発信することによって、本刊行物の国際情報発信力の向上につなげるものである。

あわせて、本誌へ日本語で掲載された論文を英語に翻訳すること、および日本人執筆者により英語で書かれた英語論文の英語としてのクオリティの向上をネイティブチェックによって実現することにより、日本における教育学研究の海外への国際情報発信力をより一層飛躍的に高めることを目的とするものである。

### ・応募時に設定した取組の目標・評価指標

掲載決定した論文の英文校閲および英文翻訳の専門性と適切性の向上を図り、掲載論文の質を飛躍的にブラッシュアップし、海外への発信力を強化する。あわせて、海外からの本学会より発信された英語による学術情報のダウンロード数を飛躍的に高めることを目指す。英文要旨と英語の書誌情報をXML化した『教育学研究』と、英文ジャーナル『Educational Studies in Japan: International Yearbook』を最新号から順次J-STAGE上に掲載してゆくことにより、海外からのアクセスによるダウンロード数を、3年目には現在の約3倍の1ヶ月当たり100件、事業完了時までには現在の5倍の1ヶ月当たり180件にまで伸ばすことを目指す。

## 2 目標の達成状況

### ・現在までの目標の達成状況

[掲載決定した論文の英文校閲および英文翻訳の専門性と適切性の向上]

翻訳者による加筆修正は該当する論文がなかったため実施の必要がなかった。

[英語による学術情報のダウンロード数を飛躍的に高めること]

① 3年目：現在の約3倍の1ヶ月当たり100件

→平成27年度年月平均69件、平成28年上半期月平均286件

② 事業完了時：現在の5倍の1ヶ月当たり180件

→平成28年9月段階で月平均268件

### ・今後の計画

① 刊行物を順次J-STAGEへ掲載し、平成30年度には効果の検証と今後の戦略構築を兼ねて国際シンポジウムを開催する。

② 国際交流委員会の活動

WERA（世界教育学会）のフォーカルミーティングの日本開催に向けて準備を進めている。現在、WERAへ申請中。平成31年8月、日本教育学会大会と同時開催を計画している。

